

これ1冊で経営計画書への悩み、不満がなくなる

わが社は「経営計画書」をつくっても何も変わらない！ 社長の悩みを解決する本

2025年
3月11日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は佐藤義昭著『わが社は「経営計画書」をつくっても何も変わらない! 社長の悩みを解決する本』を2025年3月11日(火)に刊行いたします。

経営計画書は、使えるように作り成果が出るように使う!

「そのまま『マネ』してつくったのに成果が出ない」「毎年作り直しているけど何も変わらない」「方針通りに実行」と言っても社員が動かない——その経営計画書への悩み、不満、この1冊でなくなります!

「経営計画書」は会社の方針や目標を共有し、変化に対応するための道しるべです。ただ作っただけでは、成果はあがりません。経営計画書を使う→使われるようにつくる→そして、成果が出るように使うことが大切です。

本書では、その幹部目線で立ちながら、その具体的な作成手順や活用法を詳細に解説。成果の出る経営計画書の実物ページも多数掲載しています。

タイトル:わが社は「経営計画書」をつくっても何も変わらない! 社長の悩みを解決する本

著者:佐藤義昭

ページ数:240ページ ISBN:978-4-86667-728-6

価格:1,650円(10%税込) 発行日:2025年3月11日

【目次】

- 第1章 経営計画書は“魔法の書”なのか
- 第2章 道具として使える経営計画書の作り方【基本編】
- 第3章 道具として使える経営計画書の作り方【数字編】
- 第4章 道具として使える経営計画書の作り方【方針編】
- 第5章 つくって終わりにしない経営計画書の使い方
- 第6章 経営計画書を「幹部」とつくる

【プロフィール】

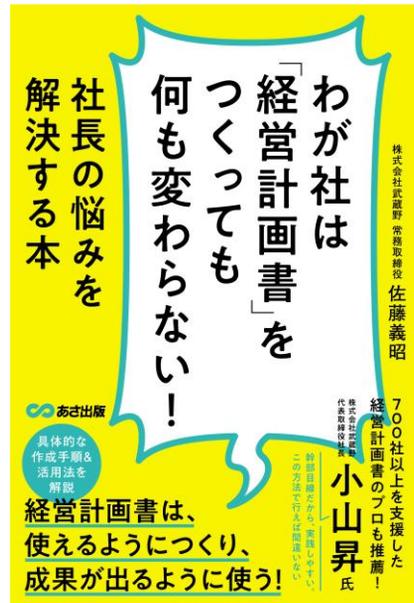
佐藤義昭(さとう・よしあき)



株式会社武蔵野常務取締役

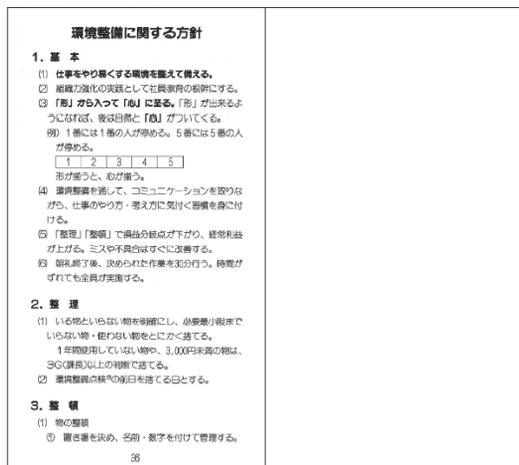
1971年東京都生まれ。1990年武蔵野にアルバイトとして入社、ダスキン事業から新規事業まで経験。2007年経営サポート事業本部の本部長を経て2015年11月取締役に就任。その後2021年6月常務取締役に就任。現在は新規事業であるクリーン・リフレ事業の責任者として、入社1~3年の新人教育も行う。

また経営者向けに年間100回以上の講演実績があり、小山昇の実践経営塾の合宿では、経営者向けに経営計画書作成や短期計画作成を支援している。本書は、武蔵野式の経営計画書作成・活用のポイントを、初めて幹部の視点からまとめた、実践的書籍である。



経営計画書を教科書兼ノートとして使う

事業年度計画には行事・担当者名を入れる



↑
左ページに方針

↑
右ページを白紙

第1サイクル

日	曜日	場所	時間	内容
4.15	月	社内		再始業(9:00-12:00) 社長への報告会(17:30)
4.16	火	社内		
4.17	水	社内		
4.18	木	社内	A	
4.19	金	社内		
4.20	土	社内		
4.21	日	社内		
4.22	月	社内		リーダー会議 再始業(9:00-12:00)
4.23	火	社内		再始業(9:00-12:00)
4.24	水	社内		
4.25	木	社内	B	
4.26	金	社内		
4.27	土	社内		
4.28	日	社内		
4.29	月	社内		再始業(9:00-12:00)
4.30	火	社内		
5.1	水	社内		
5.2	木	社内	C	1/25オンライン研修(9:00-10:00)
5.3	金	社内		再始業(9:00-12:00)
5.4	土	社内		この日の日
5.5	日	社内		この日の日
5.6	月	社内		再始業(9:00-12:00)
5.7	火	社内		再始業(9:00-12:00)
5.8	水	社内		再始業(9:00-12:00)
5.9	木	社内	D	この日の日
5.10	金	社内		再始業(9:00-12:00)
5.11	土	社内		再始業(9:00-12:00)
5.12	日	社内		再始業(9:00-12:00)

144

経営計画書は左ページに方針を書いて、右ページを白紙にします。経営計画書は教科書兼ノートとして使います。

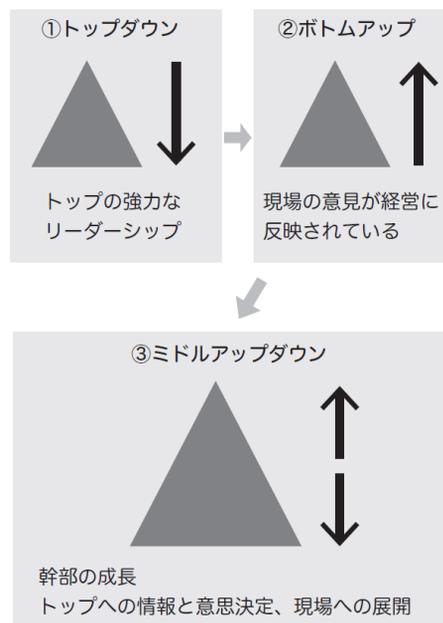
事業年度計画は、予定ごとに担当者を決めていること。「いつ誰が」の「誰」を1年前から明確にしています。

経営計画書は七つのパートで構成する

幹部が引っ張る“ミドルアップダウン” 経営を目指す

目次

① 配布先一覧	→P56
② 経営理念	→P60
③ 経営計画発表にあたって	→P63
④ 数字 未来	→P80
⑤ 実績	→P97
⑥ 方針	→P112
⑦ スケジュール	→P69



経営計画書は七つのパートで構成されています。各パートについて本書で詳しく解説します。

幹部が成長することで経営計画書の作成に深く関わられるようになり、経営計画書の作成に深く関わることで幹部がまた成長する——。この好循環が回るようになれば理想的です。